

# かわら版通信

2012年 7月号  
vol.3

大和屋 株式会社 建材部  
〒360-0031 埼玉県熊谷市末広2-118  
TEL:048-526-1008

## すてきなうち

### 快適な性能と無垢の温もり

今回、ご紹介させていただくのは、吉見町にお住まいのS様です。S様ご家族は二世帯でお父様、お母様、ご主人であるS様、奥様、お子様2人の6人で暮らしています。

マイホームを建てられる際、S様がこだわったのは住宅性能。『いい家を建てる』という本に偶然出会い、これがきっかけで広瀬さんを知り「底力暖房」の魅力に惹かれて新築を決意されました。家全体がほぼ同じ温度の暖かさで、お風呂上りの際にも湯冷めがなく、家中どこでも感じられる「温もり」に大満足。



▲『底力暖房』で玄関土間も暖かい



▲動線が配慮されたキッチン

奥様のこだわりはキッチンを中心とした生活の動線です。キッチンを挟んでダイニングや水廻りが隣に配置されている為、家事がより効率的になりました。「営業スタッフと大工さんには細かな仕様変更にも対応していただいた」と奥様も感謝していました。

一番のお気に入りには「こあがり」と呼ばれるダイニングにある3畳の少し上がったスペース。ダイニングテーブル用の腰掛けとしても使用でき、お子様の勉強スペースや下部が引き出し収納としてもたっぷり使えるため、奥様はもちろん家族全員がお気に入りです。



▲S様ご家族

お父様、お母様にもご好評のレッドパイン無垢フローリングと建具。その質感と温もりをぜひいろいろな方に広めたいとおっしゃっていました。



▲レッドパイン無垢フローリングと建具

お子様の成長とあわせて、無垢材を使用した住まいも成長し続けます。快適で安心な住まいに守られ、とても幸せなご家族です。

(箕田)

## すてきな 工務店紹介

### “いい家”にこだわり続ける

高橋 武社長は、公共工事を行う会社で現場監督を経て、30歳で瀬田住宅計画を興されました。

独立した頃より「戸建住宅はおもしろいだろうな」という想いを持っていた高橋社長は、長野・東北・北海道へ実際に足を運び、寒冷地でも快適に住める住宅を目的にしました。その後、「冬でも快適な家づくり」に興味を持たれ、『底力暖房』という工法を作り出し、他社には無い武器として特許をも取得しました。

夏が快適なもの大切ですが、冬の辛さの方が人の体に「悪さ」をします。以前はオプションだった『底力暖房』も今では標準仕様です。価格は上がり、お客様の数は減りました。ですが、「価格を下けるとお客様にご満足いただける家づくりができない」という想いから、「当時はお客様が減っても「やせがまん」でした」と高橋社長はおっしゃいます。

“いい家をつくりたい”という信念のもと、新しいことへの研究・勉強を惜しまない高橋社長。「住宅業界には様々な流行もあり、それに対応するには、早すぎても遅すぎてもいけない。前橋のコンセプトハウスで10年、本庄のウィークエンドハウスで5年。そろそろ新しいものを作りたい」と語ります。次にどんな“いい家”ができるのか、楽しみです。

(橋本)



▲高橋社長

#### ●会社概要

会社名：(株)広瀬住宅計画 エリア：群馬・埼玉北部  
代表者：高橋 武 所在地：群馬県前橋市

## イベント掲示板



### 大和屋 PHOTO CONTEST 2012

日頃から大和屋の商品をお買い上げいただきありがとうございます。

このたび、弊社商品(YM玄関ドア、内装建具、床材、羽目板、造作材等)の施工写真を募集致します。グランプリ、優秀賞、特別賞、入選、他、数多くの賞をご用意しております。(社内にて選考の上、発表いたします。)

なお、お送りいただいた写真はカタログ、HP等に掲載させていただくこともございますので、ご了承ください。詳しくは別紙詳細をご確認ください。皆様からのご応募お待ちしております。

(染野)

## 大和屋ニュース

### 今回は、大和屋建材部の受発注センターをご紹介します。

受発注センターでは、お客様の声に「迅速かつ親切」に対応することを心がけております。

5人の優しい女性に囲まれながら笑顔で仕事に取り組んでいます。この笑顔が皆様にもお届け致します。

★センター長・野本 誠

仕事に育児に奮闘中！いつも『ありがとう』の感謝の気持ちで。

★チーフ・飯塚 祥江

美容・健康が気になるお年頃(?)笑顔の見える電話対応を目指しています。

★石井 則子

毎朝のお弁当作りに苦戦中。5月から受発注センターの新メンバーです！よろしくお祈りします。

★鴨田 真紀

手作り家具に挑戦中！出来がよければ次の作品も？何事も一生懸命がんばります！

★岡田 純子

週末は家族で蕎麦打ちにハマっています。水の量や力加減など、ちょっとした差で味が変わります。仕事もきめ細やかに頑張ります！

★武田 薫

ご発注・納期のお問い合わせ・お見積・メンテナンス依頼など、どんなことでもお尋ねください。

皆様からのお電話、お待ちしております。

レッドパイン 大和屋 検索 受発注センター ☎ 048-526-1008 (橋本)

## マメ知識

### 木の燃費の話 “常緑樹”と“落葉樹”

今回は常緑樹と落葉樹の違いを、『燃費』の面からお話します。

葉は呼吸と共に水分を蒸散させているので、葉が多くなる場合、木はその分、大量の水を吸収しなければなりません。葉の維持費がかかるわけですが、夏場は光合成がたくさんできるので、収支がプラスになります。光の弱い冬場は、葉があることで維持費がかさみ、収支がマイナスになってしまいます。そこで冬は葉を落とし、春の新芽(初期投資)に効率よくエネルギーを使うことにしたのが落葉樹、葉の維持費を下げることにしたのが常緑樹、というわけです。

寒帯やリンドラ地帯では、広大な常緑針葉樹林が広がっています。北欧の家もどこか木に似ていて、燃料維持費をあまりかけずに長持ちさせる家が多いように思います。

日本の森は、常緑樹と落葉樹の混合林、双方の木が長所を活かせる森です。ではこれからの日本の家は？ 燃費の面から、自然にならって考えてみるのはいかがでしょうか。

(宮崎)

## 編集後記

大和屋建材部より、かわら版通信vol.3をお送りいたします。

前号にてご案内させていただきました“FIRENZEオーク”のモニター募集には、多くのお申込をいただき、ありがとうございました。施工写真等、随時HP等へもアップしてまいりますのでご期待下さい。

新たに、“大和屋 PHOTO CONTEST 2012”も開催いたします。皆様のご参加、お待ちしております。

(橋本)

-1-

-4-